

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

9 目 県外事務所費<地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「若い鳥取県応援団」 連携PR事業	1,720	1,470	250				1,720	
トータルコスト	2,549千円 (前年度 2,231千円)							
従事する職員数	正職員：0.10人							
主な業務内容	「若い鳥取県応援団」との連絡調整、マスコミ等への鳥取県PR、イベント開催							
説明	<p><b>1 事業の概要</b></p> <p>東京本部では、現在埋もれている鳥取県にゆかりのある若者を発掘し、新たな人的ネットワークを形成し、県に有益な情報の収集・発信を行う目的で、首都圏在住の10～40代の若手鳥取県出身者を中心に組織する「若い鳥取県応援団」を結成（会員数110名）。</p> <p>首都圏における鳥取県PR活動等へ主体的関与を望む応援団と協働して、若手ならではの斬新なアイデアと行動力・人脈を活用した本県のPR活動やイベントを実施する。</p> <p>また応援団と協働することにより、県とのネットワークを益々強化し、中堅世代になってからも県政への協力を望める有力なネットワークを確保する。</p> <p>若手の県人ネットワークは全国でもユニークであり、鳥取の元気を首都圏でアピールできる。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 応援団の人脈を活用したマスコミ等への鳥取県のPR</p> <p>応援団による鳥取ブランド、観光プラン等の提案に基づき、応援団の人脈を活用してマスコミ等に対して時代にマッチした鳥取県のPR活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月に1度戦略会議を開催、アイデアを吸収 (マスコミにアピールする話題作り、若者向け観光商品の提案 産業振興・定住促進について意見交換 など・・・)</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓アウトプット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ関係応援団員による関係者への売り込み</li> <li>・東京本部による関係者への売り込み、意見のフィードバック</li> </ul> <p>(2) 首都圏の若い世代を対象にした鳥取県PRイベントの開催</p> <p>応援団の企画力・人脈・スキルを活用し、首都圏の若い世代を対象に鳥取県のPRイベントを開催する。このイベントを応援団の活動のシンボルとし、首都圏のみでなく地元へも鳥取の元気を発信する。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野外イベント会場で県産品を紹介する「鳥取屋台村」</li> <li>・イベントステージで県出身アーティストによるPRライブ</li> <li>・テーマは時事的な物を企画会議で決定・・・「ふるさと納税」「地域振興」など</li> </ul>							